

学 習 の 指 針 (シラバス)

教科名	数 学	実施学年	2 年	週時数	3 時間
-----	-----	------	-----	-----	------

1 学習の目標等

学習の目標	<p>(1) 文字を用いた式について、目的に応じて計算したり変形したりする能力を伸ばすとともに、連立二元一次方程式について理解し、それを用いることができる。</p> <p>(2) 基礎的な平面図形の性質について、観察、操作や実験を通して理解を深めるとともに、図形の性質の考察における数学的な推論の意義と方法とを理解し、推論の過程を的確に表現することができる。</p> <p>(3) 具体的な事象を調べることを通して、一次関数について理解するとともに、関数関係を見いだし表現し考察することができる。 また、具体的な事象についての観察や実験を通して、確率の考え方の基礎を理解する。</p>
使用教科書・副教材等	啓林館未来へひろがる数学2 計算の反復練習 啓林館未来へひろがる数学ワーク2

2 (1)学習計画及び評価方法等<6月1日現在>

	月	学習内容	学習のねらい	備 考	テスト範囲
第 1 学 期	6	1章 式の計算	数量の関係を文字式で表現でき四則計算ができる。	8 時間	小テスト 単元テスト 定期テスト 授業ノート ワーク
		1節. 式の計算	1. 整式の加法、減法、単項式の乗法、除法の計算ができる。	1 1 時間	
		2節. 文字式の利用	2. 数量関係を文字式を用いて表現したり、説明したりできる。		
		2章 連立方程式	3. 目的により式を変形できる。連立方程式を理解し、それを用いることができる。		
	7	1節. 連立方程式	1. 二元一次方程式とその解の意味を理解する。		
		2節. 連立方程式の利用	2. 連立方程式を解くことができ、それを利用できる。		
第 2 学 期		3章 1次関数	二つの数量を取り出し、その変化や対応を調べることを通して、1次関数を理解し、関数関係を見いだし考察することができる。	1 7 時間	小テスト 単元テスト 定期テスト 授業ノート ワーク
	9	1節. 1次関数とグラフ	1. 事象の中に1次関数としてとらえられるものがあることを知る。	1 4 時間	
	10	2節. 1次関数と方程式	2. 値の変化の割合とグラフの特徴を理解し、利用できる。		
			3. 二元一次方程式を、関数を表す式と見ることができる。		
	11	4章 図形の調べ方	基本的な図形の性質を見いだし、平行線の性質を利用し確かめられる。		
		1節. 平行と合同	1. 平行線や角の性質を理解し、図形の性質を確かめられる。		
		2節. 証明	2. 基本性質を基に多角形の角の性質をみいだせる。 1. 証明の意義と方法を理解する。		

			2. 三角形の合同条件を理解し、図形の性質を論理的に確かめられる。		
第3学期	12	5章 図形の性質と証明	基本的な図形の性質を見だし、合同などを利用し確かめられる。	1 7時間	小テスト 単元テスト 定期テスト 授業ノート ワーク
	1	1節. 三角形	1. 特別な三角形の性質を見つけ、論理的に証明することができる。		
		2節. 四角形	2. 平行四辺形の性質を見つけ、論理的に証明することができる。また、平行四辺形になる条件の理解を深める。 3. 特別な平行四辺形について理解を深める。 4. 平行線と面積の関係を理解する。		
2	6章 確率	1節. 確率の意味	1. 起こりえる場合を順序よく整理できる。	9時間	
		2節. 場合の数と確率	2. 確率の意味を理解し、求めることができる。		
	3	7章 箱ひげ図とデータの活用	箱ひげ図や四分位範囲を用いてデータの傾向を読み取り、批判的に考察して判断し、問題を解決できるようにする。	3時間	
		1節. データを活用して問題を解決しよう	1. 箱ひげ図からデータの傾向を読み取り、自分の考えをまとめて説明したり、他者の意見について批判的に考えたりすることができる。		

※年間を通して、ティームティーチングで授業を行う。

3 評価について

(1) 評価の観点及び内容

	評価の観点及び内容	評価教材
数学への 関心・意欲・ 態度	学習内容に興味を持ち、授業に積極的に取り組む。問題練習についてもワークなどをしっかり進めている。解らないところはそのままにしないで質問をするなどして解決にあたらそうとする。 (※説明・発表の際は、間隔を十分に空けるなど十分配慮した上で実施します。)	ワークの取り組み ノートの取り組み 宿題の取り組み (Sノート) ☆授業態度 (発表・忘れ物)
数学的な 見方や考え方	事象を数学的にとらえ、論理的に考えようとする。定期テストの応用問題が解けること、授業中でも論理的に説明・発表など取り組もうとする。 (※説明・発表の際は、間隔を十分に空けるなど十分配慮した上で実施します。)	定期テスト 小テスト・単元テスト 宿題の取り組み ノートの取り組み
数学的な 技能	数量の関係について、数学的に表現や処理することができる。図形ではコンパスや三角定規を用い適切に表現する。定期テストでは上記の内容の問題を解く。	定期テスト 小テスト・単元テスト 宿題の取り組み ノートの取り組み

数量・図形などについての知識・理解	基本的な概念，原理，法則，用語，記号などをきちんと理解し，基本的な知識を身につけている。 定期テストでは上記の内容の問題を解く。	定期テスト 小テスト・単元テスト 宿題の取り組み ノートの取り組み
-------------------	---	--

☆印の項目は、授業を欠席した場合評価に含めることができない場合があります。

(2) 観点別評価からの評定の算出の仕方

A = 3点、B = 2点、C = 1点として4つの観点別評価を合計し、下の表に照らして評定を算出します。

評定	観点別評価の合計
5	12点
4	10～11点
3	7～9点
2	5～6点
1	4点